

レシピの中で紹介しているアプリ等は一例となります。アプリの利用を強制するものではありません。市町村、学校の実態に応じて御活用ください

Google™, Google ドキュメント™, Google スプレッドシート™, Google スライド™, Google フォーム™, Google Jamboard™, Google Meet™, Google Classroom™, Google Earth™ は、Google LLCの商標または登録商標です。
Windows, Word, Excel, PowerPoint, Microsoft Whiteboard は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Keynote, Pages, Numbers, iMovie は、米国その他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
なお、本文中には™マーク、®マークは明記していません。

■ICT活用レシピ中学校編目次

学年・	教科等	単 元 名 	ページ	活用	場面
3年	国語	芭蕉の弟子になりきって「おくのほそ道」を紹介しよう	9 9	В 1	C 2
2年	社会	歴史的分野「明治維新」	102	В 1	C 2
2年	数学	基本的な平面図形の性質	105	A 1	C 2
1年	理科	いろいろな生物とその共通点「生物の観察」	108	B 2	С3
2年	理科	化学変化と原子・分子「化学反応式のつくり方」	111	С	1
2年	音楽	創作: 学校の CM ソング (15秒) を創ろう	113	C2 · C	3·B4
1年	美術	デザインや工芸「私の歩み」	116	В	4
1年	保健体育	心身の機能の発達と心の健康「欲求やストレスへの対処と心の健康」	118	C 2	В3
1年	技術	技術分野のガイダンス	121	C 2	B 4
1年	技術	製作品を構想し、設計しよう	124	A1·B	1·B3
全学年	家庭	切り方と名称を知ろう	1 2 7	B 1	B 5
2・3年	英語	人物を扱うリーディング教材 (例として Mother Teresa を扱う)	1 2 9	С	2
全学年	道徳	「二通の手紙」(「私たちの道徳」文部科学省)	1 3 1	C 1	C 4
2年 総合的 学習の		仕事探究 ~「働くこと」を考える~	134	C 3	В5
3年 学級活動		進路の不安や悩みの解消	1 3 7	С	2

中学校3年 国語



芭蕉の弟子になりきって「おくのほそ道」を紹介しよう

目標

- 〇歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ ことができる。
- 〇長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことがで きる。

指導計画 ┃ │時│

l		時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例
	見通す	1	○作者と作品の概要を知る。 ○学習のねらいや進め方をつかみ、単元の見通しをもつ。	◆教科書や便覧を読み、芭蕉及び「おくのほそ道」について ワークシートにまとめさせる。 ◆芭蕉の弟子になりきって「おくのほそ道」の一句について 紹介するスライドを作成し、クラスメイトに伝えるという 言語活動を通して、「芭蕉の生き方、考え方とは?」とい う課題を解決していくことを確認させる。
				ーになりきって「おくのほそ道」を紹介しよう。 って旅とは何か?芭蕉の生き方、考え方を探る~
l			〇作品を音読する。	◆歴史的仮名遣いに注意しながら繰り返し音読させる。
	深	2	〇前時の復習(作者と作品の概要)として小テストを行う。	活用レシピ① ②テスト機能を活用し、前時の学習事項についての小 テストを行い、知識の定着を図る。
l	める		〇冒頭から芭蕉の旅に対 する思いを読み取る。	◆根拠となる表現を基に芭蕉の旅への思いをまとめ、話し合わせる。 (グループ→全体)
l		3	〇「平泉」を読み、芭蕉 の思いを捉える。	◆時代背景や表現を押さえて芭蕉の心情を読み取らせる。 ◎大型画面に平泉の情景の写真や図などを映し出す。
	らない半	4 5	○教科書以外の章段を掲載したワークシーク選が、紹介する。 スライドを読み合い、 互いに助言する。 ○助言を受けて、スライドに書いた文章を推敲する。	 ◆複数場面(口語訳)のワークシートから一句選ばせる。 ◆インターネット等で調べ、必要な情報を収集させる。 ◆スライドは4枚とし、内容は①俳句のキャッチコピー、②文章・俳句とその解説、③芭蕉の思いや考え方(根拠も示す)、④感想(キャッチコピーの理由を含む)とする。 ◆小グループで下書きのスライドを読み合い、観点に沿ってよい点や助言などを書き込ませる。 活用レシピ② ◎スライドのコメント機能を活用し、よい点や助言などを書き込ませる。
		6	〇作成したスライドの発 表を行う。 〇まとめの考えを書く。	◆グループ内の発表→代表者による全体での発表とする。◆他の生徒の発表を聞き、芭蕉の生き方、考え方について、広がったり深まったりした自身の考えをまとめさせる。

中学校3年 国語

B 1 `

個に応じた学習(5分)

活用レシピ①

◎テスト機能を活用し、前時の学習事項についての小テストを 行い、知識の定着を図る。

使用するアプリ等

「Google フォーム」(「Microsoft フォーム」)

【活用の流れ】



※印刷、配布、回収、採点、点数入力という作業が全て省略できるので、簡単!

	手 順	ポイント
1	前時に学習した知識に関する小テストを「Google フォーム」で作成し、生徒に配信する。	・短時間で取り組めるので、問 題は択一式がふさわしい。
2	生徒が個人端末で解答し、送信させる。その後、 正答や解説を自身で確認させる。	事前に「フィードバック」に 解説を入力しておく。
3	教師は回答状況を確認し、誤答の多い問を取り上 げて詳しく解説する。	・定着度が瞬時に可視化されるという特長を生かす。
4	授業後、「Google スプレッドシート」(表計算アプリ)を確認し、成績管理を行っていく。	・テストの点数が自動で表に入 るという特長を生かす。

中学校3年 国語

C 2 協働での意見整理(20分)

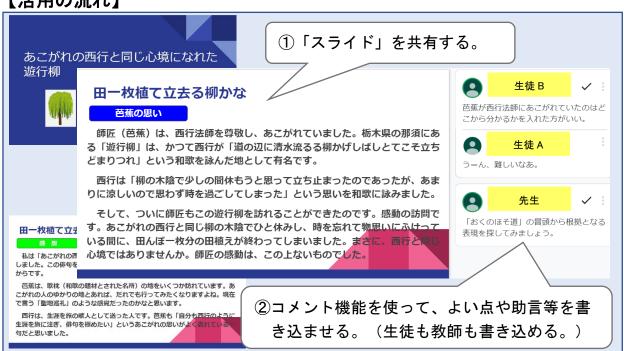
活用レシピ②

◎スライドのコメント機能を活用し、よい点や助言などを書き 込ませる。

使用するアプリ等

「Google スライド」 (「PowerPoint」「Keynote」)

【活用の流れ】



	手 順	ポイント
	気に入った「おくのほそ道」の俳句と文章を選	・各スライドに記述する観点を
	び、紹介するスライドを作成させる。	明確に示す。
	スライドを共有し、グループ内で読み合い、コ	話して伝えるだけでなくコメ
2	メント機能を使って、よい点や助言を入力させ	ントが記録されるので、後で
	る。	見直すことができる。
	※必要に応じて教師も助言を書き込む。	
	友人や教師の助言を基に自身のスライドを推敲	・推敲して完成するまでの過程
3	させる。	が記録に残るので、主体的に
		学習に取り組む態度の評価の
		材料にすることができる。

中学校2年 社会



歴史的分野 「明治維新」

目標

〇明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことが理解できる。

時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例
1	○新政府の成立	◆五箇条の御誓文の内容から、明治政府が目指していた国づくりに ついて捉えさせる。
		◆「上からは明治だなどと読むけれど治まる明と下からは読む」と いう狂歌を紹介し、「単元を貫く問い」を設定する。
	明治政府	は、日本を「明るく治める」ことができたのだろうか。
2	〇明治維新の三大改革	活用レシピ①
		◎アンケート機能を活用し、前時の学習事項についての小テストを行い、知識を定着させる。(以下、③~⑧も同様に行う)
		◆学制、徴兵令、地租改正の成果と課題について捉えさせる。
3	○富国強兵と文明開化	◆明治政府の富国強兵と、殖産興業の政策について理解させる。
4	○近代的な国際関係	◆明治初期の対外関係について、岩倉使節団、東アジア諸国との条 約の締結をもとに理解させる。
5	○国境と領土の確定	◆日本の領土がどのようにして確定していったかを理解させる。
6	〇自由民権運動の高まり	◆藩閥政府への批判から、士族の反乱が起こったことや、自由民権 運動が高まっていったことについて理解させる。
7	〇立憲制国家の成立	◆大日本帝国憲法がどのようにつくられたか、また、その成果と課題について捉えさせる。
8	○学習のまとめ	◆明治維新の成果と課題について話し合う。また、話合いの結果をもとに、「単元を貫く問い」について自分の考えをまとめさせる。 活用レシピ②
		◎ホワイトボードアプリを活用し、「明治維新」の成果と課題 について話し合わせる。

中学校2年 社会

B 1 個に応じた学習(3分)

活用レシピ①

◎アンケート機能を活用し、前時の学習事項についての小テストを行い、知識を定着させる。

使用するアプリ等

「Google フォーム」(「Microsoft フォーム」)

【活用の流れ】

社会科 小テスト「明治維新①」

第1問 藩を廃止して県を置き、各県には県令を東京、大阪、京都の3府 1ポイント
には府知事を中央から派遣して治めさせた改革は?*

□ 地租改正

□ 廃藩圏県
□ 五箇条の御哲文
□ 版籍奉還

第2問 薩摩、長州、土佐、肥前の4藩の出身者が実権を握り、政治を 1ポイント
行ったため、何と呼ばれるようになったか。*

□ 幕府
□ 中央政府
□ 朝廷
□ 藩闘政府

どの問題の正答率が低いのかすぐに分かるので、指導に生かすことができる。

前時に学習した用語を確認する小テストを作成し、授業の始めに実施する。

	手 順	ポイント
	前時で学習した明治維新の諸改革や、出来事について	短時間で済むように選
1	確認する小テストを、「 Google フォーム」で作成し	択形式のものにする。
	ておく。	
	小テストを実施する。結果がすぐに分かるので、生徒	・結果をもとに、教師の
2	に知識の定着度について確認させる。	指導改善にも生かす。

中学校2年 社会

C 2

協働での意見整理(40分)



活用レシピ②

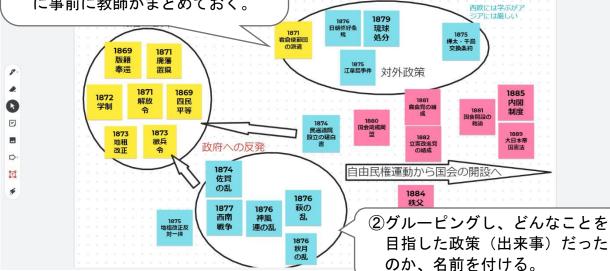
◎ホワイトボードアプリを活用し、「明治維新」の成果と課題 について話し合わせる。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」 (「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)

【活用の流れ】

①明治初期の出来事については、 1868~1873 (黄)、1874~1879 (青)、1880~1889 (桃)の付箋 に事前に教師がまとめておく。



	手 順	ポイント
	授業前に「 Google Jamboard 」ファイル「明治	・あらかじめ、授業で学習した
1	維新」を用意し、コピーしたものをグループに	明治期のできごとをまとめた
	配布しておく。	付箋を用意しておく。
	KJ法を用いて、付箋をグルーピングさせ、まと	・教師がモデリングし、KJ法の
2	まりに名前を付けさせる。	やり方を説明する。
	グループごとの「 Google Jamboard 」を電子黒	・明治維新の成果と課題につい
3	板で表示し、クラス全体で共有する。	て、全体で確認する。
	「単元を貫く問い」について、個人の考えをま	・根拠をもとに記述するよう指
4	とめ、発表する。	導する。

中学校2年 数学



基本的な平面図形の性質

目標

○今まで学習した基本的な平面図形の性質を基にして、新たな平面図形の 性質を見いだすとともに、それらを用いて論理的に考察し表現すること ができる。

時学習活動		◆指導上の	留意点	◎ICT 活用例	
① ○対頂角の性質② ○平行線と同位的③ ○平行線と錯角の	角の関係 件)関係 活用	を基にして確かめ説 レ <mark>シピ①</mark> <mark> 形表示アプリを活</mark>	明させる。	質について、与えられ ざまな図形の様子を :	
	9	- る。			
④ ○三角形の内角の⑤ ○三角形の内角を⑥ 関係○角の分類と角に角形の分類○多角形の内角の○多角形の外角の	: 外角の ⇒ 多: による三 の角: の和	させる。 角形についての性質を させる。	E、平面図形の S用紙を、Goog	基本的な性質を基にし 基本的な性質を基にし le フォームで作成し自	て説
⑦ ○いくつかの図形	<u>خ</u>	数的な図形について、 数学的に表現させる。 <mark>レシピ②</mark>		いて角度を求め、その	こと
		人の意見をプレゼ 提示して考えを結		ノアプリでまとめ、 :	全体
9 〇合同な図形の性 ⑩ 〇三角形の合同第		角形の決定条件を基に えさせる。	こして、合同な	三角形をかくための条	件を
② ○証明の意味と必③ ○仮定と結論の意○証明のしくみ○証明の根拠とながら	意味 す	えられた条件から図る 活動を通して、仮定る		ら条件以外の性質を見 深める。	いだ
④ ○三角形の合同系った簡単な図冊	111 - 12	角形の合同条件を使っ	って、簡単な図	形の性質を証明させる	0
◎授業や内容のまとま業の導入や見通しの	=		で書かせ全体で	共有するとともに、次	の授

中学校2年 数学

A 1 教師による教材の提示(5分)

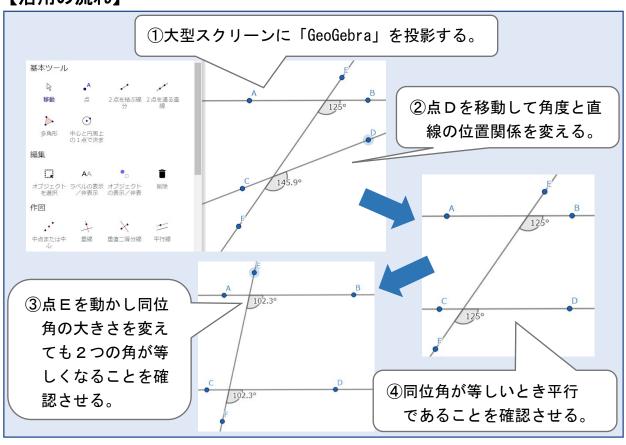
活用レシピ①

◎図形表示アプリを活用し、さまざまな図形の様子を提示する。

使用するアプリ等

動的数学ソフトウェア「GeoGebra」 https://www.geogebra.org

【活用の流れ】



	手 順	ポイント
	「GeoGebra」で作成した図形を大型スクリーン	・授業中に生徒とともに作成し
1	に投影する。	て、興味をもたせることもで
		きる。
	点Dを動かして、同位角が等しくなるときの条	・平行であることを三角定規を
2	件を全体で確認する。	用いて全体で確認する。
	点Eを動かして、2直線が平行であるとき同位	・平行線と同位角の関係を短時
3	角の関係が等しくなることを全体で確認する。	間で確認できるようにする。

中学校2年 数学

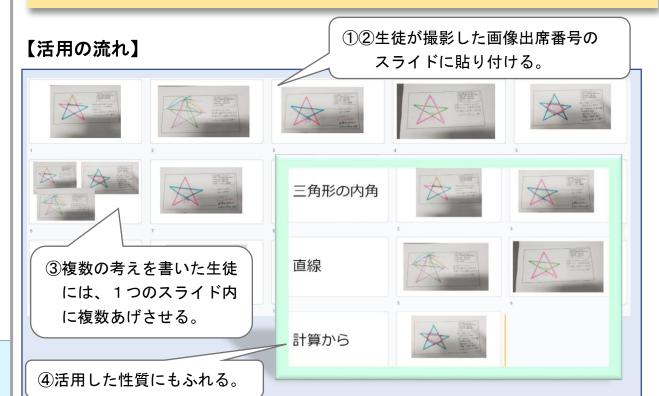
C 2 協働での意見整理(25分)

活用レシピ①

◎個人の意見をプレゼンテーションアプリでまとめ、全体に提示して考えを結びつける。

使用するアプリ等

「Google スライド」 (「PowerPoint」「Keynote」)



	手 順	ポイント
1	「 Google スライド」ファイルに生徒の人数分のスライドを作成して、学級全体に共有をかける。	・グループごとに意見を上げさせていく方法も考えられる。
2	配布したプリントに解き方をかき、それを写真に撮る。	・環境によっては、タッチペン で直接スライドにかかせる。
3	撮った画像を自分の出席番号のスライドにあげ る。	解けない生徒へは、スライドを見てよいことを伝える。
4	代表生徒のスライドを動かしながら分類し、数 学的な見方・考え方にせまる。	生徒と共に分類しながら、身に付けさせたい力をつける。

中学校1年 理科



いろいろな生物とその共通点「生物の観察」

目標

○校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活 していることを見いだして理解することができる。

3 H 13	18 THE				
時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例			
1	○生物の観察のポイント○ルーペの使い方○スケッチのしかた	◆生物の形や色、大きさ(丈)、見つけた場所(日かげか日なたか)等を記入することを事前指導する。 ◆基礎技能(ルーペの使い方・スケッチのしかた)は、事前に机上で指導する。			
2	○観察の準備	 ◆グループごとに観察の計画を立てさせる。 ◆観察の目的を明確にする。 ◆役割分担(写真を撮る。分布を記録する等) ◆準備するもの(筆記用具・学校地図・記録用紙・ルーペ・タブレット・植物図鑑等) 			
		とし、生物(植物)の体の特徴や生息場所の違いを調べよう。			
3	○観察	◎カメラ機能を使い、学校周辺の植物の写真を撮影する。			
4	○観察の続き	◆同時に、見付けた動物(昆虫等)の写真を撮っておくと、今後の分類の授業でも使用できる。 ◆写真を撮った場所を(分布)をきちんと記録しておく。 ◆スケッチ、ルーペを正しく使うよう指導する。			
(5)	○写真を共有し、植物名	ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	を調べる。	◎プレゼンテーションアプリを使い、各自で撮った植物写真をグループで(もしくは学級で)共有する。◆教科書や図鑑を参考に、植物名を調べさせる。			
6	○分布情報を共有し、グ	活用レシピ②			
	ループで1つの分布 図を完成させる。	◎ホワイトボードアプリを使い、植物分布図を作成する。			
	<u> </u>	◆各自(各グループ)の記録をもとに、全員で作業をする。			
	○学習のまとめ(発表)	◆日当たりによる分布の違いや、草丈の違いに注目しながら考察を させる。			

中学校1年 理科

調査活動(30分) **B** 2

活用レシピ①

◎プレゼンテーションアプリを使い、各自で撮った植物写真を グループで(もしくは学級で)共有する。

使用するアプリ等

学習用端末のカメラ機能

「Google スライド」(「PowerPoint」「Keynote」)

【活用の流れ】

○○中学校の植物... ☆ 🗈 🖸

(例)4人グループで共有した画面

€ 共有





①「画像を追加」を選び、個人で撮影した植物写真を並べさせる。

	手 順	ポイント
	授業前に、写真を入れる枠、植物名・撮った場所を入	・写真の枚数を指示する。
1	れる枠を設けた「 Google スライド」のテンプレート	(何枚でも可能だが、グループ内で
	を全員に共有しておく。	重ならないようにしてもよい)
	各自で撮った写真をテンプレートに載せ、植物名を教	・植物名の分からないものも載せる
2	科書や図鑑を使って調べさせる。	(後で全員で調べられる)
3	上のように、グループ全員の写真を表示し、分からな	・今後の授業でも使えるようドライ
	い植物名を再度調べさせる。	ブに保存しておく。

中学校1年 理科

C3 協働制作(25分)

活用レシピ②

◎ホワイトボードアプリを使い、植物分布図を作成する。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」 「Google Classroom」 (「Microsoft Whiteboard」 「Keynote」)

【活用の流れ】



	手 順	ポイント
	準備した学校図入りの「 Google Jamboard 」をグ	・同時に5色のカラーシール
1	ループ数分作成し、「 Google Classroom 」を使	をたくさん作っておく。
	って配信する。	
	5色のカラーシールを、それぞれ何の植物とする	・ある程度まとまって生えて
2	かを各グループで決め、カラーシールを手でスラ	いるところにシールを置く
	イドさせて同時編集し、分布図を完成させる。	ようにする。
3	グループごとに考察を考え、発表する。	・ドライブに保存する。





化学変化と原子・分子「化学反応式のつくり方」

目標

- ○化学変化を原子や分子のモデルで説明できる。
- 〇化学変化は化学反応式で表されることを理解することができる。

時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例		
1	【実験】 鉄と硫黄が結びつく変化	◆熱した物や、薬品、発生する気体の扱いに十分注意させる。		
		合物を熱したときの変化を観察し、熱した後の物質の性質 こうに変化するかを調べよう。		
2	〇実験のまとめ 〇化合物	◆熱する前の物質と熱した後の物質のちがいについて注目して 考察をさせる。 ◆混合物と化合物の違いをおさえる。		
3	物質の粒子モデルを値	走って、化学変化を表そう。		
	【実習】 化学変化を化学式で表す ・Fe+S→FeS ・C+O ₂ →CO ₂	◎鉄と硫黄の反応や、二酸化炭素ができる反応をタブレットの 粒子モデルを使って表す。◆化学式と化学反応式の違いをおさえる。		
4	【実習】 化学反応式のつくり方 2H ₂ +O ₂ →2H ₂ O	活用レシピ ②水素と酸素が化合して水ができるときの化学変化を、 原子・分子のモデルを使って、化学反応式で表す。 ◆矢印の左右で水素原子の数と酸素原子の数が合うにはどうしたらよいか考えさせる。 ◆グループ活動を通して、学びを深める。		
5	〇いろいろな化学反応式	◆化学反応式のつくり方をまとめ、様々な化学反応式を作らせてみる。 *反応式中の数字の意味をよく理解させる。		

中学校2年 理科

C 1

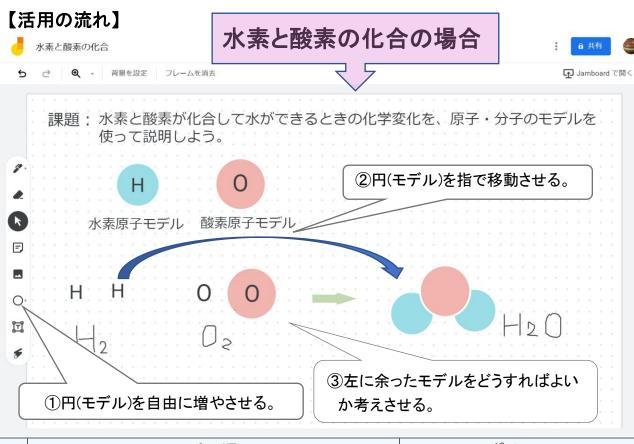
発表や話合い(25分)

活用レシピ

◎水素と酸素が化合して水ができるときの化学変化を、 原子・分子のモデルを使って、化学反応式で表す。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」 「Google Classroom」 (「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)



	手 順	ポイント
	授業前に、課題やモデルを準備した「 Google Jamboard 」	・モデルは、水素原子と酸素元素そ
1	をグループ分作成し、「 Google Classroom」を使って配信	れぞれ1つずつにしておく。
	する。	
	各グループで、水素と酸素の化合の化学反応式をモデル	・1つの画面を共有しているので、
2	を使って表現させる。	分からない生徒に教え合いながら
		作業ができる。
3	モデルを式で表したり、考えを発表したりさせる。	・ドライブに保存する。

中学校2年 音楽



創作:学校のCMソング(15秒)を創ろう

目標

- 〇リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を 感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、ど のように音楽を創るかについて、思いや意図をもつ。
- 〇音楽を形づくっている要素によって生み出される雰囲気などに関心をも ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組 む。

ı		時	学習活動	◆指導上の留意点 <mark>◎ICT 活用例</mark>
	歌詞を創る	1	○歌詞を創る。	◆言葉のもつ抑揚をリズムや、音の上がり下がりに気付けるよう電子黒板やワークシート等を使って指導する。 活用レシピ① ◎グループで協働で意見整理をしながら歌詞を創り、出来上がった歌詞を写真に撮って、言葉の抑揚など気付いたことを書き込む。
	坛	2	○旋律をつくる。	◆記譜の方法については、ワークシート等を活用して無理のない 範囲で記録する。
	旋律を創る	3	○旋律をつくる。 ○作品を演奏し録音 する。	◆前時の続きで、旋律づくりをさせ、作品が出来上がったら、教師が演奏するなどしてグループごとに歌を録音する。 活用レシピ② ◎学習端末の録音機能を使って、グループの作品を録音する。
ı				◎子自端木の軟自域配を使って、ケルークのIF 品を軟自する。
		4	○音楽のイメージに あう学校生活の場 面を学年写真等から選ぶ。○録音した音楽と写	◆タブレット上に保存している学校の写真や行事の写真等、そこからイメージに合うものを選ばせたり、グループで写真を撮ったりしたものを活用する。活用レシピ③
	まとめる・		真をアプリ上で合 成させて CM を完 成させる。	◎動画編集機能を活用して、録音した音楽と写真をアプリ 上で合成させて、CM 作品を完成させる。
	発表する	5	○自身のグループの 作品について紹介 文を作成する。	◆紹介文を作成するにあたり、思考し表現を工夫した部分について、音楽を形づくっている要素に基づいて、根拠をもって意見が述べられるように指導する。
			○学級で作品を見合 い、優秀 CM 賞を 決める。	◆作品賞を選ぶ(他グループの作品を批評する)際に、音楽的な要素で知覚したことと、作品から受ける感受の部分が整理されて根拠をもって批評文が書けるようにワークシートを工夫する。

中学校2年 音楽

C2 - C3 協働での意見整理 - 協働制作(40分)

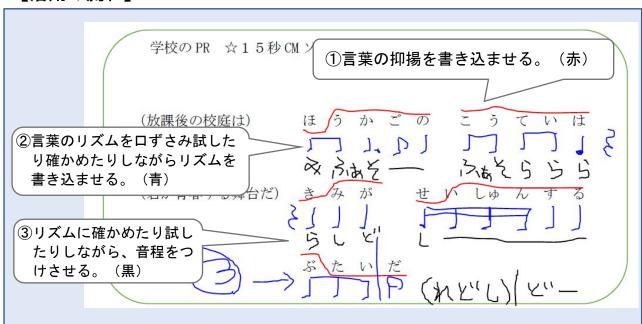
活用レシピ①②

- ◎グループで、協働で意見整理をしながら歌詞を創り、出来上がった歌詞を写真に撮って、言葉の抑揚・リズム・音程など気付いたことを書き込む。
- ◎学習端末の録音機能を使って、出来上がった歌を録音する。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」

【活用の流れ】



	手 順	ポイント
1	歌詞を考えたら、タブレットで写真に撮る。 言葉の抑揚を声に出しながら、抑揚をペン機 能等を使って写真に書き込ませる。	・ペン機能を使って書き込むことで何度も試したり確かめたりすることができる。・端末上でなく、ワークシート等を活用しても良い。
2	前時に考えた抑揚ラインを見ながら、言葉の リズムを考えて書き込ませる。	
3	これまでに考えた情報を基に、歌詞に音程を つける。また、出来上がりはグループで録音 機能を使って音声を録音させる。	・記譜で表すより、階名で書き込むなどして、創作への苦手意識の軽減を図る。・録音したら、聴き直してより良い作品を一つ記録させる。

中学校2年 音楽

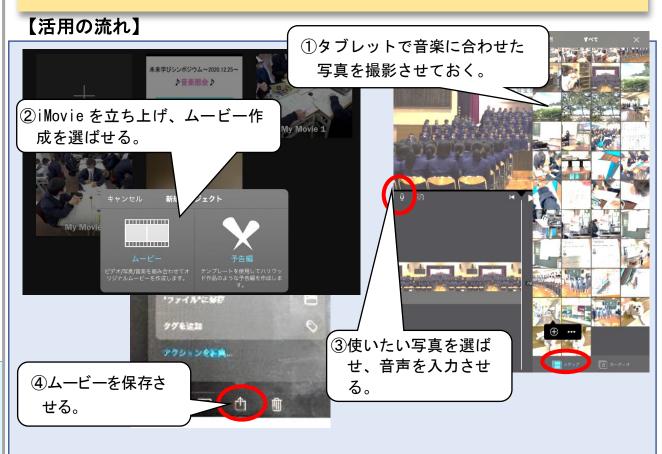
B 4 表現 制作 (50分)

活用レシピ③

◎動画編集機能を活用して、録音した音楽と写真をアプリ上で合成させて、CM 作品を完成させる。

使用するアプリ等

「iMovie」等



	手 順	ポイント
1	音楽のイメージにあう学校生活の場面を学年写真等から選び、音声と写真の合成をさせる。	・写真を複数枚使用する際は、作業画面から、写真の切り替わりのイメージを選択することができる。 ・選択した画面をタップすると、分割やトリミング、写真の場合は必要分数まで映像として伸ばすこともできる。 ・音声は、編集中に直接録音することもできる。
2	グループごとの作品を視聴し、CM 大賞を決め │させる。	・編集作業が終了したら、「ビデオを保存 する」を選択すると、保存される。

中学校3年 美術



デザインや工芸「私の歩み」

目標

○美術科の表現や鑑賞などの学習活動を記録しておき、それらをもとに3年間を振り返り効果的に伝える方法を考え、「私の歩み」としてまとめ、紹介する。

J = 13	11-4-11-12-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-				
	時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例		
	1	○日ごろからの自分の制 作物をデジタルカメラな どで撮り、ためたものを 年月ごとに整理する。	◆課題に関心をもたせ、制作物等を整理し自分に合ったまとめ方を考えさせる。 活用レシピ		
導入			◎個人でプレゼンテーションアプリを活用して、発表資料を作成する。		
	2	○「私の歩み」を作成す る。	◆友達への伝え方や表し方に関心をもたせる。 ◆スライドの枚数や、発表時間等は予め決定、伝達しておく。		
			み」をデザインしよう。		
展開	3	○発表資料を作成する。	◆紹介する制作物の写真をソフト上で年月ごとに分類、構成するよう指示し大まかな流れをつかませるようにする。 ◆大まかな流れをつかんでから、詳細な内容を表記させる。		
田田	4	〇発表リハーサルをす る。	◆伝わりやすさを考え、発表内容やレイアウトを考え、修正や 調整等をさせる。		
	5	○発表する。	◆事前に発表の仕方を確認しておく。 ◆鑑賞し、自分の感想を書かせる際のルールを事前に決定して おく。 ◆発表を鑑賞し、自分の感想を書かせる。		
整理		○発表を見て鑑賞した後、 ドキュメントを利用し 一人一言コメントを記 入する。	◆感想は教師がまとめ、後日、生徒個々に配布する。また、感想ファイルは共有し閲覧可能とする。		
	6	○学習の振り返りとまと めをする。	◆自分や友人の作品の紹介の表し方や伝え方についてのよさや 工夫したところについて確認させる。		

中学校3年 美術

B 4 表現・制作(50分)

活用レシピ①

◎個人でプレゼンテーションアプリを活用して、発表資料を作成する。

使用するアプリ等

「Google スライド」 (「PowerPoint」「Keynote」)



②作品についての説明文を考えさせる。作品の題名は必ず記入させる。

	手 順	ポイント
1	個人で作品を選択し「 Google スライド」で資料を作成させる。	・個人で「Google スライド」 を効果的に編集させる。
2	図の挿入などフリー素材の検索方法、挿入方法	・資料や素材の著作権について
	を指導し、資料を作成させる。	説明する。
3	個人でスライドを確認させる。	・「もっとよくなる」という視
	(修正・補足があったら教師が助言する。)	点で積極的に助言する。

中学校1年 保健体育



心身の機能の発達と心の健康 「欲求やストレスへの対処と心の健康」

目標

心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した 活動を通して、欲求やストレスに対して適切に対処する方法を身に付けるこ とができるようにする。

18.43				
時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例		
1	○心と体の関わり	◆精神と身体には密接な関係があり、互いにさまざまな影響を与え合っていることを理解できるようにする。また、体の状態が心に現れたりするのは神経などの働きによることも理解できるようにする。 ◎インターネットを活用して、心と体が影響し合う仕組みを調べる。		
2	○欲求と欲求不満	◆心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処することが 必要であることを理解できるようにする。		
	欲求とは何	か。また欲求への対処法はどうすればよいのか。		
		活用レシピ①		
		◎ホワイトボードアプリを活用し、欲求を出し合い、グループごとに欲求を自由に分類する。		
		◆自由記述とするが、記入する前に書くときの約束事を確認する。 (個人情報に配慮等)		
		◎欲求を5つに分類し、対処する方法を調べる。		
		◆班ごとの分類から、マズローによる欲求の段階構造をもとに分類し、対処方法を調べる。		
3	〇ストレスへの対処と心 の健康	◆ストレスとは何かを理解する。自分に合った対処法を身に付けることが大切であることも理解できるようにする。 活用レシピ②		
		◎プレゼンテーションアプリを活用し、アドバイスし合いながら、よりよいストレス対処方法を考える。		
		◆記入する前に書くときの約束事を確認する。(個人情報に配慮 等)		

中学校1年 保健体育

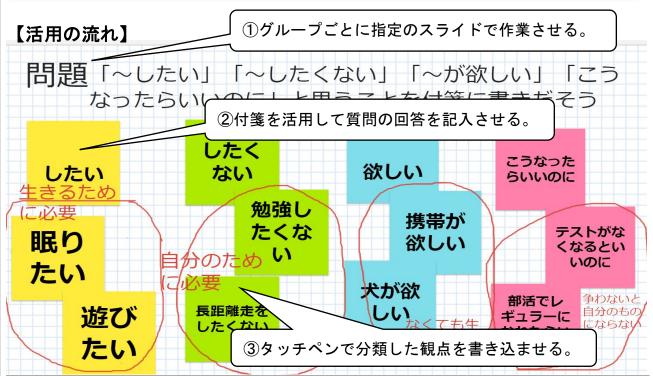
C 2 協働での意見整理(10分)

活用レシピ(1)

◎ホワイトボードアプリを活用し、欲求を出し合い、グループごとに欲求を自由に分類する。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」(「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)



	手 順	ポイント
	授業前に「 Google Jamboard 」ファイル「欲求と	・グループごとにスライド
(1)	欲求不満」から導入の質問内容を学級全体で共有し	の順番を指定しておく。
	ておく。	
	グループごとに指定のスライドで作業させる。	
	付箋機能を活用して、無記名で質問の「~したい」	・付箋の色を決めるなど、
2	「~がほしい」「~したくない」「こうなったらい	書くときの約束を指導し
	いのに」など思ったことを記入させる。	ておく。
	グループ全員の付箋を集める似たもの同士に分類さ	・付箋をグループで考えた
3	せる。	分類ごとにまとめさせる。
	どのような分類にしたかを発表させる。	・授業の振り返りが見られ
4		るようにする。

中学校1年 保健体育

B 3

思考を深める学習(5分)

活用レシピ②

◎プレゼンテーションアプリを活用し、アドバイスし合いながら、 よりよいストレス対処方法を考える。

使用するアプリ等

「Google スライド」(「PowerPoint」「Keynote」)

【活用の流れ】

NO.10

質問

①枠を作り、質問内容を記入させる。

私は初めて、大会に出場することになった 緊張であまり声も出ず、先輩にカバーしてもらってばかりたった。 一生懸命プレーしたが、20対25で負けてしまった。

先輩にとっては最後の大会だったのに、力が出し切れず悔しくて涙が出てしまった このことでずっと悩んでいる。

回答 (ooさん) 泣いても何も変わらないよ。あなただ

自分だったらどんな言葉をかけてほしいか を考えながら記入させる。

(□□くん)僕は、悩んだときは、音楽を聴いたり、走ったりして汗をかいたりすると スッキリする。

(△△さん)大会に出られただけでもうらやましいよ。私は応援だったから、もっ と悔しかった。練習して試合に一緒に出られるように頑張ろうと主いってるよ。だ から一緒に頑張ろうよ。





みんなの考えから自分の考えをまとめると・・・

自分は後悔ばかりしていた。まずは音楽を聴いて気持ち う。そして、△△さんと一緒に練習を頑張って、次は後悔し 課題だったサーブを練習して、活躍したい。

②イメージがしやすいように写真や動画、イ ラストなどを載せてもよいがフリー素材で あることを確認させる。

	手 順	ポイント
	授業前に「 Google スライド」ファイル「ストレス	氏名番号ごとにスライド
1	への対処と心の健康」を学級全体で共有しておく。	の順番を指定しておく。
	各自指定のスライドで作業させる。	
	ストレスを抱えている人物の相談文を作成させる。	・場面を想像させるような
2	作文内容は、人を傷つける内容にならない事や場面	イラストや写真などを前
	などが伝わるように書くなど約束を決めておく。	授業後に用意しておくよ
		うに伝えておく。
3	作成した問題について、グループの仲間が相談役と	・同時作業ができるよう回
	して回答を記入させる。	答枠を作成しておく。
	自分の書いたスライドに戻り、グループの回答を参	・授業の振り返りが見られ
4	考にしながら、よりよいストレスへの対処方法を自	るようにする。
	分で考えてまとめさせる。	



技術分野のガイダンス

目標

○生活の中から技術を見付け、技術の果している役割と技術に込められた問題解決の工夫について関心をもっている。

	時	学習活動	◆指導上の留意点 <mark>◎ICT 活用例</mark>
つかむ	1	技術分野で学ぶことを 知る。	 ◆小学校の学習を振り返りながら、技術分野の学習との関連(教科や内容)をおさえる。 ◆生活の中の技術を挙げ、産業の発展に果たしている役割役に気付かせる。 ◎アンケート機能でのアンケート調査や小テストを行い集計することで生徒の実態を把握する。 ◎ホワイトボードアプリを用いてイメージマップを作らせる。 ◆活用する写真などの資料を、予め共有ドライブに保存しておき、生徒自身が自分で見られるようにしておく。
	2	生活の中の技術を見付ける。	◆身近な製品を例に、使われている技術に気付かせる。 活用レシピ① ◎カメラとホワイトボードアプリを活用し、見付けた技術 (工夫等)について話し合わせる。 ◎ホワイトボードアプリで気付いたことを記入させる。 ◎グループ内で発表して共有化する。
考え、深める	3 4	技術とわたしたちの生 活について考える。	 ◆4つの内容それぞれから現代社会に大きな影響を及ぼした例を動画としてまとめておく。 ◆技術がもたらした便利さと新たに生まれた課題の両方に関心をもたせる。(環境、エネルギー 資源 ネット依存 風評被害等) 活用レシピ② ②設定した課題の解決策をアプリケーションアプリでまとめ、共有する。
			◆3人程度のグループでA~Dの4つの内容から1つ選び、技術のもたらした良い点と問題点を調べ話し合わせる。 ◆問題点について調査し、分析させる。(インターネット等) ◆課題を設定し解決する方法について自分なりの考えをまとめさせる。(プレゼンテーションアプリ) ◆グループ内で発表する。

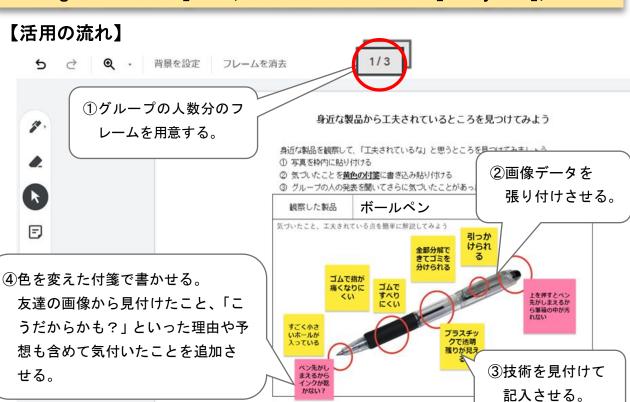
C 2 協働での意見整理 (25分)

活用レシピ①

◎カメラとホワイトボードアプリを活用し、見付けた技術(工夫等)に ついて話し合わせる。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」 (「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)



	手 順	ポイント	
	授業前に「 Google Jamboard 」ファイル「身近な	・フレームを複数にしておく。	
1	~」を用意し、コピーしたものをグループに配布	・作業するフレームを振り分ける	
	しておく。		
	身近な製品を撮影しフレームに貼り付けさせる。	・家庭で写真を撮っておくと、多くの	
2		製品から考えることができる。	
	写真から工夫されている部分を見付け、コメント	・使用場面を想像させ、材質、形状、	
3	を付箋(黄色)に書き込み貼り付けさせる。	安全性等、気になったことを多く書	
		き出させる。	
	共有化されたフレームをグループ内で発表し合	・違う色の付箋にすることで、他の人	
4	い、さらに気付いた点があったら、付箋(ピンク)	の新たな考えや視点に気付くことが	
	を貼らせる。	できる。	

B 4 表現・制作(50分)

活用レシピ②

◎設定した課題の解決策をアプリケーションアプリでまとめ、共有する。

使用するアプリ等

「Google スライド」(「PowerPoint」「Keynote」)

【活用の流れ】



	手 順	ポイント
	・動画を視聴した後、グループで4つの内容から1つ選ば	・スライドのフォーマットを作
	せる。	成し全員に配布しておく。
	・配布された「 Google スライド」のファイルを開かせ	
	る。	
	・技術の「良い点」「問題点」について考えさせる。	・グループで話し合いながら書
2	・疑問点や具体的なデータはインターネットで調べさせ	き込んでいく。
	る。	・個人作業のページを用意する。
	・調べたことを「 Google スライド」で編集させる。	・問題を様々な視点で分析させ
3	・問題を分析させる。	る。
	(なぜ?→理由 さらになぜ?・・・)	
	・問題を解決するための課題と解決後の姿を各々で設定	・課題とは問題を解決するため
4	し、解決のための自分なりの方法についてスライドにま	の目標であることを知らせ
	とめさせる。	る。



製作品を構想し、設計しよう

目標

- 〇 材料や成形の方法などを選択し、課題を解決するための製作品の構想を 具体化することができる。
- 製作に必要な図のかき方を理解し、図に表すことができる。

10-41			
	時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例
	1	○使用目的や条件に合わせて、製作品の構想を 考える。	◆製作品の構想を具体化する際は、製作品の形、大きさ、使い やすさ、丈夫さだけでなく、製作時間、かかる費用、使える 材料などの制約条件や、使用後廃棄する際の環境負荷などに ついても考えさせる。
つかむ	2	○製作に必要な図のかき 方を知る。	◆製作に必要な図は、等角図及び第三角法による正投影図を用いる。 活用レシピ①
			◎見本の製品をカメラや実物投影機で撮影し、第三角法による正投影図と比較し、図のかき表し方を理解させる。
	3	〇製作品の構想を図にか き表す。	◆自分の設定した課題で、大事にしたいところを確認し、構想 をスケッチや文章でかき表させる。
考え、深める	4	○3DCADソフトウェ アを利用して構想を見 直す。	◆寸法や構造が適切かどうか見直させる。 活用レシピ②
્રિ			◎3DCADソフトウェアを活用して、丈夫な構造かどう か等を可視化し、構想を見直す。

A 1 • B 1

一斉学習、個に応じた学習(25分)

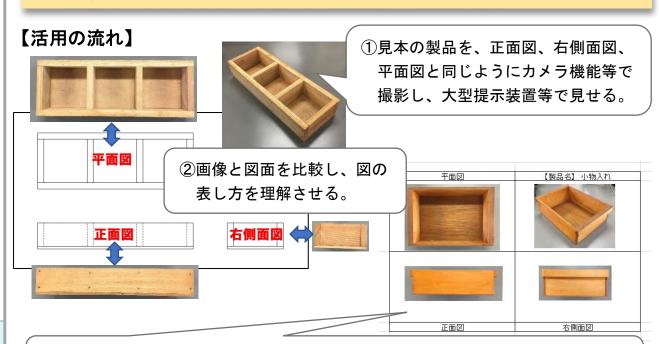
活用レシピ①

◎見本の製品をカメラや実物投影機で撮影し、第三角法による 正投影図と比較し、図のかき表し方を理解させる。

使用するアプリ等

実物投影機や学習用端末のカメラ機能等

「Google スプレッドシート」(「Excel」「Numbers」)



③身の回りにある製品を学習用端末のカメラ機能で、正面図、右側面図、平面図の方向から撮影し、画像をスプレッドシート等にまとめさせる。

	手 順	ポイント
	見本の製品を、正面図、右側面図、平面図と同じよ	・正面図、右側面図、平面図と同
1	うにカメラ機能等で撮影し、大型提示装置等で見せ	じような視点から撮影する。
	る。	
	第三角法による正投影図、図の表し方を説明する。	・図を拡大させて、細かい部分を
2		説明する。
	身の回りにある製品を学習用端末のカメラ機能で、	・撮影した画像をセルに合わせて
3	正面図、右側面図、平面図の方向から撮影し、	縮小し、大きさをそろえる。
	「Google スプレッドシート」にまとめさせる。	
	まとめた「 Google スプレッドシート」を見なが	・授業後にも確認できるように
4	ら、第三角法による正投影図をかかせる。	ドライブに保存しておく。

B 3

思考を深める学習(25分)

活用レシピ②



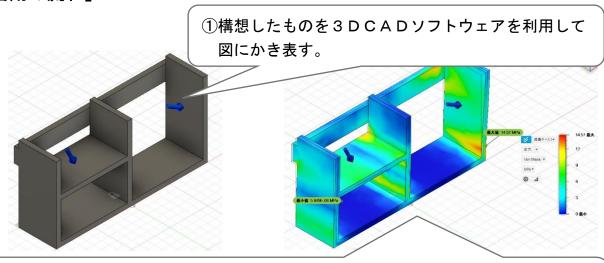
◎3DCADソフトウェアを活用して、丈夫な構造かどうか等 を可視化し、構想を見直す。

使用するアプリ等

3 D C A D ソフトウェア

(AUTODESK Fusion 360) (https://www.autodesk.co.jp/))

【活用の流れ】



②矢印の向きに力を加えた場合について、応力解析の機能を使ってシミュレーション し、どこが壊れやすくなるか等を可視化することで、設計を見直すヒントにする。

	手 順	ポイント
1	構想したものを3DCADソフトウェアを利用 して図にかき表す。	・代表の生徒の構想図を例に挙げる。
2	応力解析の機能を使ってシミュレーションを行 い、設計を見直すヒントにする。	・丈夫なところや壊れやすくなるところを可視化する。
3	構想したものを見直させる。	・丈夫な構造するために板の大 大きさを変えたり、材料を無 駄にしないために寸法を小さ くしたりするなど、目的に応 じて構想を見直させる。

中学校 技術・家庭(家庭分野)



切り方と名称を知ろう

目標

○いろいろな切り方の種類と方法を知る。

指導計画

家庭学習でも可

<u>' </u>					
<u>4</u>	先 一ドする。			○切り方の動画を撮影する。 ○YouTube に動画をアップロードする。	
<u> 2</u> 			別 囲を限定公開する。	〇アップロードした動画の詳細を設定し、「限定公開」にして 「保存」する。限定公開できたら、アンケート機能に挿入す るため、URL をコピーしておく。	
		時 学習活動		◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例	
		20 分	○自宅または教室で各自 が動画を視聴し、学習 内容を知る	◆反転学習(予習)のために、アンケート機能を開き、動画を 視聴する。 活用レシピ①	
				◎動画を繰り返し視聴して、自分のペースでいろいろな切り方の種類と方法を知る。	
	真			◆動画を繰り返し視聴したり、教科書で確認したりしながら、 フォームで作成した小テストに取り組ませる。 活用レシピ②	
				◎ (家庭での予習を充実させるため) 小テストに取り組む。	
			包丁をじょうずに使えるようになろう		
	Ę	25 分			
	用			◎きゅうり1本を、指定されたさまざまな切り方で切ることができるように、動画を繰り返し視聴させる。・いちょう切り・半月切り・乱切り・せん切り・斜め薄切り・ひょうし木切り・輪切り	
8	まとわ	5 分	○次時の予定を確認す る。	◆安全と衛生に気を付けて包丁を扱い、きゅうり1本を使ってさまざまな切り方ができように考えさせる。 ◆それぞれの切り方が分かり、同じ厚さ・大きさに切ることができるようにする。 ◆次時に、「切り方テスト」を行うことを知らせる。	

中学校 技術·家庭(家庭分野)

B 1 • B 5 個に応じた学習 • 家庭学習 (20分)

活用レシピ①

◎動画を繰り返し視聴して、自分のペースでいろいろな切り方の種類と 方法を知る。

使用するアプリ等

「YouTube」「Google フォーム」 (Microsoft フォーム)

【活用の流れ】

家庭科 「切り方と名称を知動画を試験して、野菜の色々な切り方を理解しましょう。

①Google フォームで小テストを作成し、動画を貼り付けておく。

きゅうりの切り方の動画を見てみよう!



動画を使用する場合、生徒個 人が繰り返し視聴することを想 定し、3分以内にする。 レシピでは、総合教育センタ 一の動画を使用している。 下記の Q Rコードから、確認 が可能である。



活用レシピ②

(家庭での予習を充実させるため) 小テストに取り組む。



	手 順	ポイント
	〇切り方の動画を撮影する。 〇YouTube に動画をアップロードする。 〇アップロードした動画の詳細を設定し、「限定公開」 にして「保存」する。限定公開できたら、「 Google フ	・YouTube にアップせずに、ドライブ等に保存し、共有させる方法もある。
1	オーム」に挿入するため、URL をコピーしておく。 反転学習(予習)のために、「 Google フォーム」を開き、動画を視聴させる。	・動画を繰り返し視聴して、自分 のペースで学習させる。
2	動画を繰り返し視聴したり、教科書で確認したりしながら、「Google フォーム」で作成した小テストに回答させる。	・家庭での予習を充実させるため)動画を視聴した上で、回答できる設定にしておく。 ・結果を確認し、今後の学習に生かす。

中学校2・3年 英語



人物を扱うリーディング教材 (例として Mother Teresa を扱う)

目標

○人物について紹介している英文から人物像などを読み取り、教科書の英文 を引用したり、共有した友達の意見や考えを参考にしたりして、感想を書 くことができる。

	W == · ·	
時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例
1	OMother Teresa について知る。	◆生徒同士で知っていることを共有させる。 ◆関連する動画を視聴し、題材に対する関心をもたせる。 ◎動画サイト等から内容や言語表現のふさわしい動画を予 め選んで共有しておく。各自のペースで視聴できるよう にする。
	Mother Tere	sa の活動についてまとめ、感想を書こう。
2	〇生涯の活動を年表にまとめ ることで英文の概要を捉え る。	◆目的をもって英文を読み取らせる。 ◆概要を読み取る活動のため、分からない表現があっても読み 進められるように支援する。
3	○活動や出来事についての詳細を捉える。	◆前時にまとめた年表の流れを参考にして、活動や出来事の詳細を読み取らせる。 ◎年表を共有し、各自で書き込みができるようにしておく。
4	○Q&A を通して必要な情報を 読み取る。	◆内容の理解を深めるように支援する。 ◆感想を書く活動につなげるために、Inferential Questions(推論 発問)も用意し、自分の考えを表現する場面をつくる。
→表現の確認等 ◆解説が		◆重要表現について確認する。 ◆解説が中心にならないように、英文の内容に関連させながら 表現の確認を行う。
6	○人物像を捉える。 ○共有した意見を参考にし て、人物を紹介する英文を 書く。	◆新しい読み取りの視点を与え、英文全体をより深く、自分の 考えをもたせながら読ませる。 活用レシピ ◎ホワイトボードアプリを活用して、人物像を最もよく表
		しているキーワードを共有する。 ◆共有したキーワードを使って、人物を紹介する英文を書く。
7	〇最も印象に残った一文を選び、その内容を中心に感想 を書く。	◆どの生徒にも取り組みやすいように、発問を工夫するととも に、教科書の英文を引用しながらまとめるように支援する。

中学校2・3学年 英語

C 2 協働での意

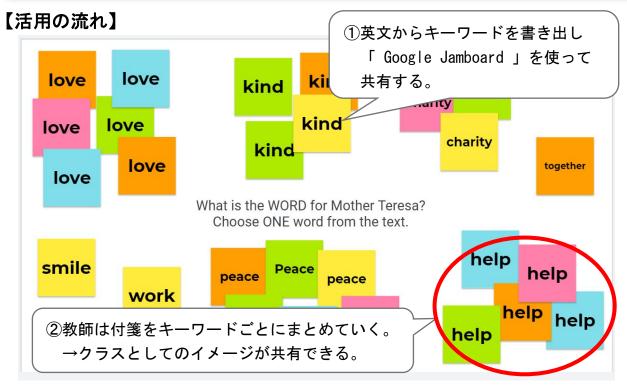
協働での意見整理(10分)

活用レシピ

◎ホワイトボードアプリを活用して、人物像を最もよく表しているキーワードを共有する。

使用するアプリ等

「Google Jamboard 」(「Microsoft Whiteboard」「Keynote」 オンラインサービス「slido」(https://www.sli.do/))



	手 順	ポイント
1	発問を書いたスライドをあらかじめ学級全体 に共有しておく。	・グループごとにスライドを用意 してもよい。
2	英文からキーワードを選び、 「 Google Jamboard 」を使って、スライド上 で共有する。	・教師は、キーワードごとに付箋をまとめていく。・共有されたキーワードが使われている場面を確認させる。
3	共有されたキーワードを使って、人物を説明 する英文を書かせる。	・他の生徒から出されたキーワー ドも積極的に使うよう促す。

中学校 道徳



「二通の手紙」 (「私たちの道徳」文部科学省)

ねらい

○元さんがきまりを破ったことで起こりえたことを想像し考えることを通して、法やきまりは私たち(命、自由、権利など)を守っていることに気付き、進んで守ろうとする態度を育てる。C【順法精神、公徳心】

		学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例
導 入	1	○法やきまりについての イメージを思い浮か べ、考えを交流する。	◆ねらいについての問題意識をもたせ、この後、自分との関わ りで考え、話し合えるようにする。
	2	○教材を聞き話し合う。 ①元さんが処分を受けた ことに納得ができる か、できないか。	◆「きまりを守る(納得できる)」「納得できない(子供たちへの思いやり)」という視点から、自分はどちらの考えが強いか立場を明確にして話し合わせる。 ◆ここで子供たちへの思いやりという同情できる理由について十分話させることを通して、それでもなおきまりを守ることの大切さを強く感じられるようにするための布石とする。 活用レシピ①
			◎ホワイトボードアプリを活用し、自分の立場を明確にして、自分との関わりで考え、話し合う。
展開		②結果的に子供たちの親に感謝されたが、元さんの判断で他にどんなことが起こりえただろうか。 ③佐々木さんがきまりを守ることについて後輩の山田に伝えたかったのはどういうことか。	 ◆教材に描かれていないことを想像して話し合わせる。 ◆子供たちの命の危険も起こりうることを中心に、動物園という組織の存続の危険、他の人たちへの不平等などについて、多面的・多角的に話し合えるようにする。 ◆発問②において考えた「起こり得ること」等から私たちを守るためにきまりがあるということについて考えられるようにする。
	3	〇これまでの自己を見つ めて書く。	◆「きまりは自分たちを守るためにある」ということを考えながらきまりを捉えたり守ったりしてきたか、自己を見つめ、自分との関わりで振り返ることができるようにする。
終末	4	○ゲストティーチャー (弁護士)の話を聞く。	◆授業では、「きまり」を中心に話し合ってきたが、専門家である弁護士の話を通して、「法」も私たちを守っていることについて考えを広げられるようにする。活用レシピ②
71			◎遠隔会議システムのアプリを活用して、 学校外からゲストティーチャーに話をしてもらう。

野口 西東

中学校 道徳

C 1 発表や話合い(5分)

活用レシピ①

◎ホワイトボードアプリを活用し、自分の立場を明確にして、 自分との関わりで考え、話し合う。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」 (「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)



- (②立場を明確にして話し合う。(次のメリットを生かす。)
 - ・全員が自分の考えをもてる。
 - ・立場を選択する切実感から、<u>主体的に自分との関わりで</u> 考えやすい。
 - ・教師は、一人一人の立場を把握できることから、意図的 指名に生かし話合いに発展させやすい。
- ★「Google Jamboard」上の付箋の色を変えたり動か したり、付箋に考えを書き込んだりと、個々の端末か ら操作する簡単にできる手立てなので、様々な使い 方ができる。右のように、ベースとなるシートを変える だけで、様々な思考ツールとして使うこともできる。



 ・短時間で全員の立場を視覚的に 捉えることができるため、②の よさを生かしながら、<u>対話的な</u> <u>話合いに時間をかける</u>ことがで きる。



	g (g)	□ × × × · · · · · · · · · · · · · · · ·
	手 順	ポイント
1	授業前に「 Google Jamboard 」で全員分の 名前が書いた付箋を示したファイルを作成 し、学級全体で共有しておく。	・授業前に各自端末を立ち上げ、 「 Google Jamboard 」の共有ファイルを開かせておく。
2	発問①で、付箋の色の意味を確認する。【納得できる(黄色)、納得できない(水色)】	・付箋の色の意味で混乱しないよ うに丁寧に確認する。
3	発問①で、自分の名前の付箋の色を黄色か水 色にして、自分の立場を明確にさせる。	話合いに時間をかけるため、短時間で行う。
4	大型テレビ等に映したみんなの立場を視覚的に確認しながら、なぜそう考えるか理由を話し合わせる。友達の意見を聞き、考えが変わった場合は色を変えてよいことを伝えておく。	・理由を自分たちの言葉で話し合うことを大切にする。・考えが変化した生徒を視覚的にも捉えることができるので、話合いに生かす。

中学校 道徳

C 4 学校の壁を越えた学習(5分)

活用レシピ②

◎遠隔会議システムのアプリを活用して、学校外からゲストティーチャーに話をしてもらう。

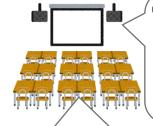
使用するアプリ等

「Google Meet 」 (「Teams」「FaceTime」「Zoom」等)

【活用の流れ】



- 「①【事前】の打ち合わせを行う。
 - ・本授業の場合、「きまりは私たちを守っているということを話し合う。最後に、きまりから法へと視点を広げるために、きまりと同じく法も私たちを守っていることを話してほしい。そのお話を授業の終わりの5分間でお願いしたい。」ということを具体的に伝える。



- ②【事前】(当日ではない)に接続テスト等を行う。
 - ・曜日や時間帯によってもネットの通信環境が異なることから、授業の曜日や時間 に合わせてテストできるとよい。サブのパソコンでもテストしておくとよい。
- ・授業当日の校内のネット使用も影響することから、校内で共通理解を図っておく。
- ・授業者以外で、当日も「Google Meet」等の操作を担当する先生をお願いするとよい。
- ③【当日】授業の終末でゲストティーチャーに講話をしていただく。
 - ・その人だからこそ話せる重みのある言葉によって、生徒は学んだことを更に深く心にとどめることが期待できる。

★ICT を使うメリット

- ゲストティーチャーの幅が広がる。
- ・これまで場所、距離、時間的に依頼するのが難 しかった方にも、お願いできる可能性が広がる。

	手 順	ポイント
1	アポイントをとり、依頼する。	
	ゲストティーチャーと事前の打ち合わせを行う。	・話してほしい内容を、具体
	・話してほしい内容・話す時間・授業(接続テスト)の日時	的に伝える。
3	当日のネット環境を想定した接続テストを行う。	· 上記参照
	当日は、「Google Meet 」等で接続し、ゲストテ	・今回は5分程度の講話だが、こ
4	ィーチャーに授業の様子を見ていただき、授業の	の機会をきっかけに、後日、十
	終末で講話をしていただく。	分な時間をとり、道徳教育や社
	ゲストティーチャーへのお礼	会科に関わる講演をしていただ
5	・教師からはもちろん、生徒の感想や手紙など	くこと等も考えられる。

中学校2年 総合的な学習の時間



仕事探究~「働くこと」を考える~

目標

〇身近な職業の調査活動等を通して、働くことの意味について自己の適性と関連させな がら考え、働くことが社会貢献・他者貢献につながっていることに気付くとともに、 学んだことを今後の学習の在り方に生かそうとする。

1日令			
	時	学習活動	◆指導上の留意点 ◎ICT 活用例
課題情報	4	○なぜ人は働くのか考える。○学区(通学路)にある店や事業所を調べる。	◆人が働く理由について思考を促す。 ②生徒の事前アンケートを行う。その際、アンケート機能の 活用が考えられる。 ◆インターネットを含んだ様々な方法でできるだけ多くの情報 を集めるように促す。
整理表現	4	○学区の「事業所マップ」 をつくる。○事業所マップ発表会を 行う。	◆学区の白地図に各事業所の立地状況や情報を書き込ませる。 活用レシピ① ◎ホワイトボードアプリを活用し、調べた内容をグループでまとめる。
課題情報	20	〇職場体験活動で学ぶ職業について、具体的な仕事内容を探究する。 〇疑問点をまとめるとともに、職場体験学習の計画を立てる。	◆あらかじめ事業所と「目指す生徒像」の共有をしておき、活動の効果をさらに高めておく。◆思考ツール(ウェビングマップやXチャート)を活用して、決定していく。
情報	18	○職場体験活動を行う。	◆職業従事者にインタビュー等の調査活動を行わせる。 活用レシピ② ◎アンケート機能を活用し、「活動記録」に、感想や疑問 点、気付き等を記載する。
整理表現	6	○調査活動によって得た 情報をもとに、伝えたい ことに即して分類する。○ポスターセッションを 行う。	◆相手に伝わるようにまとめさせる。 ◆一連の活動を通して、新たに疑問に思ったことを考えるよう に促す。
表現・まとめ	18	○学習の振り返り (学習発表会)○発表資料の作成○学習発表会○学習のまとめ お礼の手紙を書く。	 ◆これまでの学びや自身の変容について表現させる。 ・個人でまとめる(プレゼンテーション) ・グループでまとめる(プレゼンテーションや創作物) ◎プレゼンテーションアプリや録画機能の活用 ◆事前に発表の仕方を確認しておく。 ◆自分事として考えることができるようにする。 ◆これまでの活動と今後の学習や生活の在り方との関連を捉えながら手紙を書くように促す。

中学校2年 総合的な学習の時間

C 3

協働制作

活用レシピ①

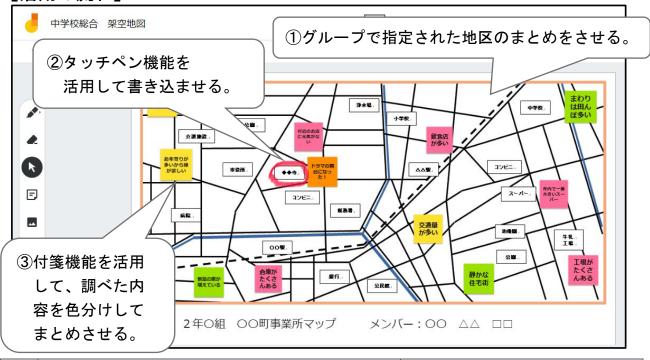


◎ホワイトボードアプリを活用し、調べた内容をグループで まとめる。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」 (「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)

【活用の流れ】



	手 順	ポイント
	授業前に地区の白地図を学級で共有しておく。	・グループは住所が同一地区の
1	グループで指定された地区のまとめを進めさせ	方がまとめを進めやすい。
	る。	
	必要に応じて、タッチペンで白地図に書き込み	
2	させるなど、工夫を促す。	
	例として、立地や創業からの年数などで付箋を	・生徒の今後の ICT 活用スキル
3	色で分類しておき、調査で得た情報を書き、発	を向上させるためにも活用を
	表させる。	促す。
	まとめた内容は、学級全体で共有する。	・授業後にも確認できるよう
4		ドライブに保存しておく。

中学校2年 総合的な学習の時間

B 5 家庭学習

活用レシピ②

送信



◎アンケート機能を活用し、「活動記録」に、感想や疑問点、 気付き等を記載させる。

使用するアプリ等

- 「Google フォーム」 (「Microsoft フォーム」)
- 「Google ドキュメント」(「Word」「Pages」)

【活用の流れ】 Google フォームで作成した活動記録です。 職場体験活動活動記録〇月〇日(〇) 今日のまとめは今日のうちにやっておきましょう! ① 職場体験活動で学んだこと等を入力させる。 本日の活動内容* 回答を入力 本日の活動は、充実していましたか?* 職場体験活動活動記録 ○月○日(○) 🗅 🌣 変更内容をすべてドライブに 保存しました (P) (©) (®) ○ はい ○ いいえ ②回答は、入力後すぐに確認できる。 教師は入力内容を確認し、次の学習指導に 本日の活動の記録や感想、気付いたこと* 生かす。 回答を入力 本日の活動の記録や感想、気付いたこと 新たな疑問* トングの使い方に慣れた。また、個包装の方がお客さんは選びやすそうだった。 回答を入力

		手順	ポイント	
		「Google フォーム」を活用する場合	・「活動記録」は、	
	(1)	質問事項を作成しておき、生徒に回答させる。	Г Google Classroom 」	
	·	後で回答内容を可視化し、学びを共有する。	上に保存しておく。	
L			・生徒は活動後、自宅で	
		「 Google ドキュメント」を活用する場合		
		リアルタイムで質問に対する意見を書かせて、学びを	活動記録をまとめ学び	
	2		を蓄積する。	
		共有する。 ※小学校「総合」のページを参照		

アイードバックの追加

中学校3年 学級活動(3)



◎ICT 活用例

進路の不安や悩みの解消

目標

○受験期の生徒が抱える不安や悩みやなどを、学級全体で話し合い、その対処法を 学ぶとともに、互いに支え合おうとする態度を身に付ける。

◆指導上の留意点

指導計画

学習活動

等で表示し、学級全 安や悩みの傾向につ を抱えていることを グループで話し合わ
グループで話し合わ
対するストレスの具話し合わせる。
こう。
to 11 last a la female a la
安や悩みの解消法」
て解消法のアドバイ
に、出された意見を
な解決方法を選択で
前向きに取り組もう
考にしながら、目標
切さを伝え、学級全にする。

中学校3年 学級活動(3)

C 2

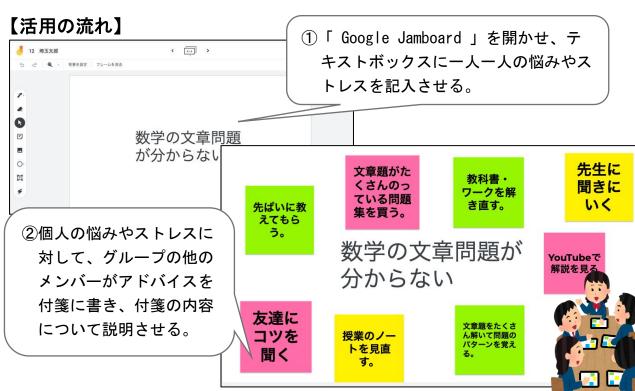
協働での意見整理(15分)

活用レシピ

◎ホワイトボードアプリを活用し、「不安や悩みの解消法」に ついて話し合わせる。

使用するアプリ等

「Google Jamboard」(「Microsoft Whiteboard」「Keynote」)



手 順	ポイント
「 Google Jamboard 」を開かせ、テキストボッ	・事前に「 Google Jamboard 」フ
クスに一人一人の不安や悩みを記入させる。	ァイルを作成し、グループごと
	に共有をかけておく。
友達の不安や悩みに対して、グループの他のメ	・具体的なアドバイスを付箋に
ンバーがアドバイスを付箋に書き、付箋の内容	書くように指示をする。
について説明させる。	
教師が各グループの「 Google Jamboard 」を大	・後で振り返られるように、全
型モニター等で表示する。	ての「Google Jamboard」
	ファイルの共有設定を学級全
せ、学級全体で共有できるようにする。	員に変更する。
	「Google Jamboard」を開かせ、テキストボックスに一人一人の不安や悩みを記入させる。 友達の不安や悩みに対して、グループの他のメンバーがアドバイスを付箋に書き、付箋の内容について説明させる。 教師が各グループの「Google Jamboard」を大型モニター等で表示する。 各グループの代表生徒に話合いの結果を発表さ